



あし さと

葦の里 No.24、25

教育目標「賢く 優しく たくましい 生徒の育成」～地域とともに9か年の学びの中で～

嬉野市立吉田中学校
令和8年2月26日
文責：校長 土岐洋二

OHISAMITSU SPINGS 来校

1月30日（金）に Hisamitsu SPRINGS 元選手によるバレーボール巡回スクールがありました。

元女子バレーボール日本代表で、2012年ロンドン五輪銅メダル獲得に貢献した新鍋理沙さんとアカデミー担当の山田真実さん、経営企画室の武田雄葵さんの3名においていただきました。

当日は、新鍋さんの講演、生徒との会食、バレーボール実技講習があり、講演では、新鍋さんから「自分の好きなこと、得意なことを見つけること」や「よいパフォーマンス・結果には事前準備が大切であること」、「日々の生活が大切なところにつながること」など、ご自身の経験の中からの学びを現役時代のエピソードを交えてながらお話しいただきました。また、給食時には2年生と一緒に食べていただきました。午後の実技講習では、山田さんの指導のもと、生徒たちがバレーボールを一生懸命に練習する姿を見ることができました。

久光 SPRINGS の皆様、素敵な時間をありがとうございました。



【 生徒感想より 】

- ・理沙さんの話を聞いて、試合でミスをしたためには、整理整頓や生活など日々の準備が大事だと分かりました。
- ・新鍋さんの講話では、オリンピックにでるまでたくさんの努力や準備をされていたことを知って、いろいろなことを考えさせられました。
- ・「見ているボールより上にボールがあると想像して打つ」ということを意識したら、無意識にジャンプをしていました。アタックを打つときは、その言葉を思い出してプレーしたいです。

○第3回学校運営協議会

2月17日（火）に、第3回運営協議会を吉田小学校で開催し、今年度の活動や学校評価結果などについて報告を行いました。また、次年度学校教育目標（下記内容）を提案し、ご承認いただきました。お忙しい中に、学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和8年度 吉田中学校学校教育目標

学校教育目標

「賢く 優しく たくましい 生徒の育成
～地域とともに、9か年の学びのなかで～」

めざす生徒像

- ・自ら学び、確かな学力を身に付ける生徒
- ・豊かな心をもち、自他を大切にできる生徒
- ・失敗を恐れず、何事にも挑戦する生徒
- ・心身ともにたくましく、健康に生きる生徒
- ・ふるさとを愛し、誇りに思う生徒

めざす教師像

- ・優れた専門性や実践的指導力をもつ教師
- ・高い倫理観と豊かな人間性をもつ教師
- ・子供のよさや可能性を引き出し伸ばす教師
- ・粘り強く取り組むたくましさをもつ教師
- ・生徒、保護者、地域から信頼される教師

めざす学校像

- ・安全で安心な学校
- ・郷土愛を育む学校
- ・小中一貫教育を進める学校

重点目標

- 1 確かな学力の育成
- 2 豊かな心の育成
- 3 たくましい心身の育成
- 4 ふるさとを誇りに思う教育の推進
- 5 小中一貫教育の推進
- 6 働きやすい職場環境づくりの推進

これまでと同様に、吉田小学校と同じ教育目標を掲げるとともに、子ども達の9か年の学びをより一層意識して、重点目標や具体的取組を出来るだけ共通化し、小中一貫教育のさらなる推進に取り組む予定です。

○お祝い給食をいただきました！

2月6日(金)に、給食センターから3年生にお祝い給食が振舞われました。9か年一緒に過ごしてきた仲間とサイコロステーキ、鮭のホイル焼き、フライドポテト、パンプキンスープなど5種のおかずにごデザートと非常に豪華な給食を、机を円形に並べて食べました。卒業後、学校に勤務する以外で給食を食べる機会はほとんどありません。これまで給食を提供して下さった給食センターの皆さんに対する感謝の気持ちを忘れずに、残りの給食の時間を楽しんでくれればと思います。



○進路選択に向けて

2月20日(金)に、2年生で卒業後の進路選択に向けた「高校調べ」の発表会を行いました。発表後の感想には、「普通科の高校でも、いろいろな特徴や魅力があってすごいと感じました。」「高校は人生での大切な分岐点なのでよく考えて選びたい。」などがありました。

また、今年度新たに高校にお願いし、2年生にお話をさせていただく機会を設け、2月18日(水)に鹿島高校、19日(木)に嬉野高校から説明をしていただきました。両校の先生方ありがとうございました。

○長年のご協力ありがとうございました

本校では、長年、生徒会を中心に「ペットボトルキャップ回収」を行ってまいりましたが、生徒や職員の負担を考慮し、3月31日をもってその活動を終了することといたしました。「ペットボトルキャップ回収」は終わりますが、これからも生徒の主体性や社会性、思いやりの心などの育成のために、クリーン大作戦などのボランティア活動に取り組んで参ります。ご理解のほどよろしくお願いたします。

これまで保護者や地域の皆様には、回収にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。また、長い間、回収にご協力いただきました吉田まんぞく館の皆様、本当にありがとうございました。

最終回収日を吉田まんぞく館、学校ともに3月26日(木)とさせていただきます。

○地域の協力のもとに



2月4日(水)に小中民生・児童委員会、5日(木)に小中いじめ防止対策委員会を開催しました。委員として参加された地域の皆様から

様々なお話やご意見をいただくことができました。

特に、いじめ防止対策委員会では、SNS利用によるトラブルなどが話題になりました。3~4月は、子供たちがスマートフォンを所持し始める時期です。スマートフォンは非常に便利な道具ですが、委員会でも話題になったように、利用に伴う危険やトラブルがあるのも事実です。所持・利用させる場合には、保護者の責任のもと、ペアレンタルコントロール※を設定したり、家庭で使用するルールを作ったりするなどの対策をお願いします。

【ペアレンタルコントロールとは】

親や保護者が子供のスマートフォン、パソコン、ゲーム機などの利用を適切に管理・制限するための機能やサービスの総称です。

○主な機能

- ・フィルタリング (閲覧制限)
- ・利用時間や課金制限
- ・アプリ管理

また、子どものスマートフォン長時間利用は、視力の低下・目の疲労、慢性的な肩こり、睡眠不足や生活リズムの乱れにつながることもありますので、十分にご注意ください。

○親子で視聴しませんか？

文部科学省で、児童生徒や保護者に向けて、「ネットいじめ」に関する啓発を含めたいじめ未然防止に関する啓発動画が制作されました。私も視聴しましたが、ネットやSNSの使い方などを考えさせられる動画でした。「文部科学省 いじめ未然防止啓発動画」と御検索いただくと、「あなたの勇氣」編、「その時、娘は」編、「軽い気持ち、重い言葉」編の3本の動画を見つけることができます。また、法務省の人権啓発動画などもあります。親子で一度視聴され、ネットいじめやSNSへの投稿などについて話されてみてはいかがでしょうか。